

| 堺市 × 大阪府 所蔵美術作品展 |

木村 嘉子展

— 色彩表現の探求

“生きることは変化すること”

Yoshiko Kimura

《丸の作品(6)》1965年 大阪府蔵

令和3年

6月26日[土]～7月25日[日]

[休館日] 7月20日(火)

[開館時間] 午前9時から午後6時まで(入館は午後5時30分まで)

[会場] さかい利晶の杜 企画展示室(堺市堺区宿院町西2丁1-1)

[観覧料] 大人(大学生含む) 300円、高校生 200円、小中学生 100円

※「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券でご覧いただけます。 ※障害のある方と介助者(受付時に障害者手帳等をご提示ください)、堺市内在学の小中学生と引率教職員、未就学児は無料です。

[主催] 堺市 [共催] さかい利晶の杜 [協力] 大阪府立江之子島文化芸術創造センター

[後援] 大阪府、堺市教育委員会



SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko



絵画とは、深い深い人間性の土壌から、
地上に萌え出す芸術であると思う。
天に駆けらず、地に潜まず、
わが絵画をして、
地上一尺の間にあらしめたいのが、
私のささやかな念願である

—— 木村嘉子

木村嘉子は、1933年大阪府高槻市に生まれ、
京都市立美術大学（現在の京都市立芸術大学）西洋
画科で油彩を学びました。卒業後は前衛的な美術
団体であったパンリアル美術協会に洋画家として初めて
参加し、作風は具象から抽象へと変化しました。
そして手形の作品や丸の作品シリーズ、マジックインク
による線描作品を経て、1973年には、版画技法の
一つである「NECOプリント」の作品へと展開してい
きました。写真画像を拡大印刷する「NECOプリント」
は、それまで屋外広告などには使用されていまし
たが、絵画制作に応用するのは日本で初めての試
みでした。それらの作品には、真に現代的なイメージ
を発掘しようと探求を続けてきた、木村嘉子独自の表現
世界を見ることができます。
本展では、大阪府所蔵の抽象絵画や堺市所蔵の版画
など様々な技法を通して創作の幅を広げてきた
木村嘉子の画業の軌跡をご紹介します。描くことへの
純粋な喜びにあふれた多彩な作品をご覧ください。



《作品6(白・黒)》1963年 大阪府蔵



《作品12-68》1968年 堺市蔵



《JOH1・7》2001年 堺市蔵



《作品15-59》1959年 大阪府蔵



《地上一尺》1963年 大阪府蔵

ご鑑賞のポイント

展示作品を通して「抽象絵画とは何か」について、入門編として解説いたします。
初めて抽象絵画に触れる方やお子さまも一緒にお楽しみいただけます。

次回企画展

夏やすみ特別企画「みりよくを探ろう!～さかいの古墳とそのしゅうへん～」
令和3年8月1日(日)～8月31日(火)

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容が中止・変更になる場合があります。

〒590-0958 堺市堺区宿院町西2丁1-1 TEL:072-260-4386 FAX:072-260-4725

阪堺線「宿院駅」下車徒歩1分、南海高野線「堺東駅」下車バスで約6分、

南海本線「堺駅」下車徒歩10分/バス3～5分、南海バス「宿院」下車徒歩1分

さかい利晶の杜 検索

